

# 理科の目 自然の芽 3

2020.05.14

だっ走ぎみのよう虫は、あのあと、さなぎになりました。キャベツからはなれて、安心できるところをさがしていたようです。さなぎになると、もうキャベツは食べないのですね。



さなぎです。

どこからチョウが出てくるのかな。



さなぎになる前はこんなふうに、じっと動かなくなり、ゆっくり形を変えていきます。

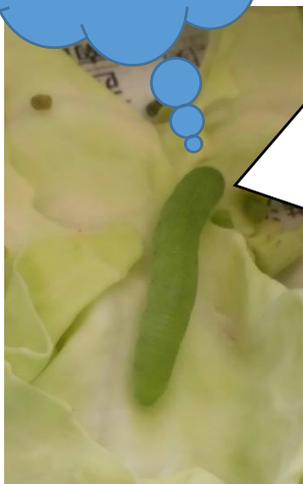


むしゃ  
むしゃ..  
もぐもぐ..

ほかのよう虫も、つぎつぎとさなぎになりました。

ほかのよう虫がさなぎになっても、まだ、もりもりキャベツを食べているよう虫もいます。

みんな、自分のタイミングでひとつステップをあげるところは、人間といっしょですね。



さて、よう虫のあしは何本か、教科書P26に絵がありましたね。

細いあしが3対（右がわと左がわ合わせて6本）太いあしは5対（右がわと左がわ合わせて10本）で合わせて16本でした。意外と多い！あしの数は、うまれてすぐの小さい時も、さなぎになる前の大きい時も変わりません。

チョウになると、あしの数がまた変わるので、楽しみにしてください。

先生の庭のミカンの木にこんなよう虫がいました。何のよう虫でしょう？



鳥のフンみたいな色をして、天敵にみつからないようにしているそうです。

このよう虫をねらって、うちの庭には、よくアシナガバチが来ます。一度、玄関の近くに巣を作ったことがありました。大好きな食べ物そばに、巣を作れば、子育てしやすいのでしょうか。みなさんのお家の近くにも、おいしい食べ物屋さんがありますか。学校が始まったら教えてください。